

守護印について

守護印とは、自分の分身となって、自分のことを守ってくれる存在となる「正印」のことです。

例えば昔の武家でしたら、2本の刀を持っていましたよね。

大剣と、小剣です。

これは、相手をやってつけるために持っていたのではなく

あくまでも自分や仲間を守るために、身に付けていたものです。

しかし、現代において、刀を持つわけにはいきません。

そこで、「身を護るもの」として持っていたいのが

『正印』と呼ばれる印鑑なのです。

これは、一部の方しか知らないノウハウなので

ご存知ないのも無理はありません。

大剣にあたるものが、実印であり

小剣にあたるものが、銀行印です。

よく「開運の印鑑」などと謳って販売しているところもありますが

わたしたちは、開運のために正印を持ちましょう、とは言いません。

あくまでも、「身を護っていただけるもの」

「自分の分身」として大切にしたいものとして、

正印を持つことをお勧めしています。

では、どういったものが正印になるかと言えば

あなたの波動と合致した材質（象牙または柘）であり

あなたの波動と合致した刻印を彫れる彫刻師に

彫っていただく必要があります。

ですので、高級な印鑑であればいいのかと言えば

そういうものでもありません。

大切なのは、自分をもっと大切にするために

しっかりとした印鑑を持ちたい、という心もちであり

ただ「運が良くなったらいいな」という軽い気持ちで

印鑑をつくっても意味がない、という事です。

もしあなたが、心から正しい印鑑を持ちたいと思えるのなら

その時はご相談ください。

あなたに今、必要な印鑑の種類、材質などを鑑定し

お見積もりさせていただきます。

COME ALIVE

鈴木健司